

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 26. 5. 27 第 186 回国会第 17 号

5 月 27 日（火）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・ 林農林水産大臣、浜田復興副大臣、西村内閣府副大臣、櫻田文部科学副大臣、江藤農林水産副大臣、平口法務大臣政務官、小里農林水産大臣政務官、磯崎経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

福 山 守君（自民）

- ・ 農協改革については、現場の声を十分に踏まえ、地に足のついた、真に農業者の役に立つ改革とすべきと考えるが、農林水産大臣はどのような見解か。
- ・ 漫画「美味しんぼ」の描写の問題に対する農林水産省及び復興庁の見解はどのようなものか。また、福島県の農林水産物に対する新たな風評被害への農林水産省の対応はどのようなになっているのか。
- ・ 6次産業化の取組を進めるためには、マーケティングやブランディングなどのノウハウを有する人材を育成すべきではないか。

樋 口 尚 也君（公明）

- ・ 東京商品取引所が6期連続営業赤字となっている原因、経済産業省としての現状認識及び今後の対応はどうなっているのか。
- ・ 産業構造審議会において指摘された市場構造の転換、清算機関の機能強化に向け農林水産省及び経済産業省はどのような取組を行い、成果を上げたのか。
- ・ 商品先物市場活性化のために総合取引所の実現を果たすべきと考えるが、経済産業省はどのように考えるか。

寺 島 義 幸君（民主）

- ・ 今冬の豪雪による農業被害の全容はどの程度なのか。
- ・ 捕獲した野生鳥獣を農林水産省等の研究機関において研究用に利用してはどうか。
- ・ 配合飼料価格に対する部分的な補填ではなく、産業として再生産が確保され畜産業の持続発展が実現できるよう配合飼料価格安定制度の抜本的な見直しが必要と考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。

岩 永 裕 貴君（維新）

- ・ 農業高校で3年間学んだ学生がほとんど就農していない

現状を文部科学副大臣はどのように考えているのか。

- ・ 農業高校の設備の更新状況はどのようになっているのか。
- ・ プロフェッショナルの目線から農林水産省が人材育成のために農業高校に携わる必要があるのではないか。

鈴 木 義 弘君（維新）

- ・ 今般の農政改革により離農が進む地域では土地改良施設の維持が困難になると考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・ 電気料金の値上がり等による維持管理費の上昇、専門的職員等の人材不足、賦課金徴収率の低下及び混住化による施設管理の複雑化等の土地改良区の諸課題に対する改善策をどのように考えているのか。
- ・ 土地改良区の運営が厳しくなり土地改良施設の維持・管理を自治体に頼らざるを得なくなった場合、自治体に対する国の支援が必要なのではないか。

林 宙 紀君（結い）

- ・ 漆の用途別使用量及び漆生産者の収益構造はどのようになっているのか。
- ・ 国産漆の増産のために関係省庁でどのように連携しているのか。
- ・ 国産漆の増産に向けて農林水産省として今後どのように取り組んでいくのか。

畑 浩 治君（生活）

- ・ 生産者による需要に応じた主食用米生産が行われるようにする米の生産調整の見直しと全国農業協同組合中央会の指導権の廃止等を内容とする農業改革はどのような関係にあるのか。
- ・ TPP交渉の状況について、工夫して適切に情報公開を行うべきではないか。
- ・ 今後、農業に従事する労働者の人手不足への対応をどのように行っていくのか。

2 特定農産加工業経営改善臨時措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 60 号）（参議院送付）

- ・ 林農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。